

## 乳がん検診を受けられる方へ

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応として、倦怠感や頭痛、発熱の他に、ワクチンを接種した側のわきの下のリンパ節の腫れ（腋窩リンパ節腫大）がみられることが報告されています。

（ワクチン接種後の腋窩リンパ節腫大は、良好な免疫反応を獲得している兆候ですので心配はなく、数日から最長10週間後までには自然にひいていくことが分かっています。）

一方、このワクチンの反応によるリンパ節の腫れが、マンモグラフィや乳腺超音波検査などの画像診断に影響を及ぼすため、このたび日本乳癌検診学会より、「ワクチン接種後の乳がん検診について、必要以上に間隔をあけることを推奨しない。可能であれば乳がん検診は、ワクチン接種から4～6週間の間隔をあけることを考慮してもよい。」と出されました。

これらから当院でも、乳がん検診は「ワクチン接種前、あるいは2回目のワクチン接種後4～6週間たってからの実施」を推奨させていただくこととしました。

※ワクチンを1回のみ接種する方は、その日が起点となります。

なお、乳がん検診を推奨しない時期においても、例えばその時期でないと受診できないご事情がある場合など、ご本人様の意志により受診することは可能ですので、ご相談ください。

お問合せ先

市立貝塚病院 健診センター

電話（代表）072-422-5865

※月～金曜日の平日

9:00～17:00